平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事　　　　　　　実施設計書

工　事　番　号	加教教第15号
工　事　場　所	加東市　　平木　　　地　内
工　　　　種	建築工事

兵庫県 加東市

内訳					概要
	実施	今回変更	増額		
設計額	円	円	円		ホール天井張替工事 ホールトップライト改修工事
請負額	円	円	円		
	請負		日数	平成27年 9月30日まで	

（起工又は変更理由）

番　号	名　　　　称	内　　　容	数　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
	加教教第15号	平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事					
A	校舎改修工事		1.0	式			
	直接工事費計						
B	共通仮設費		1.0	式			
C	現場管理費		1.0	式			
D	一般管理費		1.0	式			
	計						
	工事価格						
E	消費税相当額		1.0	式			
	工事費						

番　号	名　　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A	校舎改修工事						
1	建築主体工事		1.0	式			
2	電気設備工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
1	建築工事						
Ⅰ	校舎屋根トップライト改修工事		1.0	式			
Ⅱ	多目的ホール天井改修工事		1.0	式			
Ⅲ	樹木撤去工事ほか		1.0	式			
	計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅰ	校舎屋根トップライト改修工事						
	清掃･片付け		52.8	m2			
	既設トップライトガラス 撤去	網入ガラス t=6.8	50.3	m2			
	棟包み 撤去	下り棟共 鋼板 t=6	18.3	m			
	水切 撤去	アルミ	34.4	m			
	奥付水切 撤去	下地材共 壁取合水切共 鋼板 t=0.6	34.9	m			
	廃材運搬費		1.0	式			
	廃材処分費		1.0	式			
	鉄骨下地 フッ素GL鋼板 t=0.45 横葺	裏貼発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=2 共 継手ｶﾊﾞｰｾｯﾄ､吊子､三角ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材共	50.3	m2			
		元旦 一文字Ｓ葺 同等					
	ゴムアスルーフィング t=1.0		50.3	m2			
	複合板 t=43	ポリスチレンフォーム t=25 センチュリーボード t=18	50.3	m2			
	Ｐ計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
	棟包み	屋根同材 平板加工 下地亜鉛メッキ鋼板、通し吊子共	12.4	m			
	下り棟包み	屋根同材 平板加工 捨て板共	5.9	m			
	腰折れ部補強下地	亜鉛メッキ鋼板 t=0.8加工	34.4	m			
	軒先水切	屋根同材 平板加工 下地亜鉛メッキ鋼板 t=0.8共	34.4	m			
	立上り部 フッ素GL鋼板 t=0.45 横葺	裏貼発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=2共 三角ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材共	19.2	m2			
		元旦 一文字Ｓ葺 同等					
	ゴムアスルーフィング t=1.0		19.2	m2			
	断熱材ポリスチレンフォーム t=25	２種Ｂ品	19.2	m2			
	下地ハット型金属タルキ	ツメ付品	19.2	m2			
	同上取付金具	ITLハンガー	19.2	m2			
	奥付水切	屋根同材 平板加工 下地亜鉛メッキ鋼板、通し吊子共	29.6	m			
	唐草	亜鉛メッキ鋼板 t=0.8加工	29.6	m			
	壁下部見切	捨て板共	5.3	m			
	Ｐ計						

番　号	名　　　　称	内　　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	屋根取付下地 Ｃ-100×50×20×2.3	SSC400相当品	405.0	kg			
	PL-6		196.0	kg			
	PL-4		266.0	kg			
	ボルト類		1.0	式			
	工場製作費		868.0	kg			
	現場工事費		868.0	kg			
	運搬費		868.0	kg			
	シアナミド鉛サビ止め	JISK5625	61.0	m2			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
Ⅱ	多目的ホール天井改修工事						
	内部足場	枠組棚足場	351.0	m2			
	仕上養生		351.0	m2			
	清掃･片付け		351.0	m2			
	既設ロックウール吸音板 撤去	捨貼石膏ボード､天井下地共	324.0	m2			
	電動ルーバー 撤去	スチール枠共	1.0	式			
	廃材運搬費		1.0	式			
	廃材処分費		1.0	式			
	地震対策軽量天井システム	下地共 三洋工業 三洋ﾌｪﾉﾊﾞSZ耐震断熱天井 同等	357.0	m2			
	同上壁周囲納め		77.8	m			
	垂れ壁部 断熱天井仕上材 t=20	三洋工業 フェノバ 同等	7.7	m2			
	軽量鉄骨下地 スタッド50	直貼 @300	7.7	m2			
	下地構造用合板 t=12		7.7	m2			
	アルミ見切縁 t=1.0	C型 W105	76.9	m			
	Ｐ計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	見切縁取付下地材 C-100×50×20×2.3		335.0	kg			
	既製品アングル		1.0	式			
	ボルト類		1.0	式			
	工場製作費		335.0	kg			
	現場工事費		335.0	kg			
	運搬費		335.0	kg			
	シアナミド鉛サビ止め	HISK5625	37.7	m2			
	天井点検口	アルミ 450角	4.0	ヶ所			
	照明器具振れ止め		41.0	ヶ所			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅲ	樹木撤去工事ほか						
	仮囲い		1.0	式			
	清掃･片付け	ガードフェンス H1,800 30m程度	1.0	式			
	メタセコイア伐採	胸高直径≒1,000 樹高 40.0m 特殊伐倒吊切り					
	50tラフタークレーン		1.0	台			
	グレーチング部 車両進入路養生	5×10 t=22	4.0	枚			
	伐採手間	高所特殊作業員	1.0	式			
	伐採材 運搬	17.0m3程度	1.0	式			
	伐採材 処分費	5.0t程度	1.0	式			
	飼育小屋屋根 撤去	折版葺 タイトフレーム共	33.4	m2			
	廃材運搬費		1.0	式			
	廃材処分費		1.0	式			
	Ｐ計						

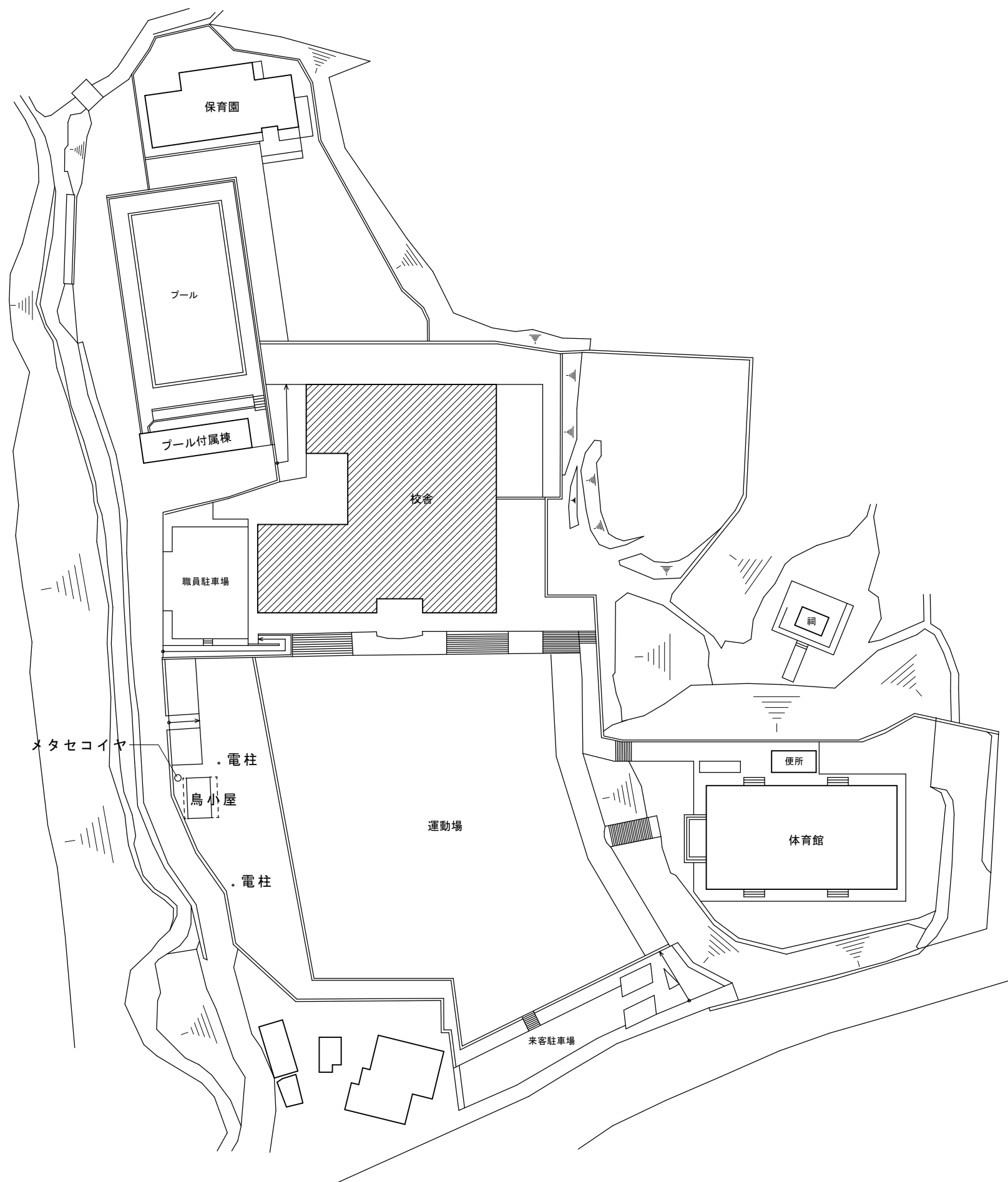
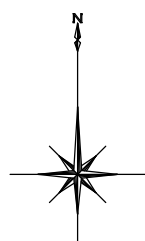
番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
	新設飼育小屋屋根 折版葺	カラーGL鋼板 t=0.8 ボルトタイプ	33.4	m2			
	タイトフレーム		18.8	m			
	メッシュフェンス 脱着	H1,500 10m程度 基礎ブロック共	1.0	式			
	スロープ　シーリング	10*10 1.8m*10か所	1.0	式			
	階段補修	蹴上モルタル塗 １段　W=1.0m	1.0	式			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	電気設備工事						
Ⅰ	電灯設備工事		1.0	式			
Ⅱ	火災報知設備工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
I	電灯設備工事						
	エコケーブル	EM-EEF 1.6-2C ころがし	32.0	m			
	エコケーブル	EM-EEF 1.6-3C ころがし	68.0	m			
	エコケーブル	EM-EEF 2.0-3C ころがし	17.0	m			
	エコケーブル	EM-EEF 1.6-2C （管内）	5.0	m			
	エコケーブル	EM-EEF 1.6-3C （管内）	5.0	m			
	エコケーブル	EM-EEF 2.0-3C （管内）	10.0	m			
	ボックス類		1.0	式			
	照明器具	A　LSS9-6800I	41.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　　　称	内　　　容	数　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
Ⅱ	火災報知設備工事						
	ケーブル	AE 1.2-4C ころがし	52.0	m			
	ケーブル	AE 1.2-4C (管内)	10.0	m			
	空気管	SSパイプ メッセン付	247.0	m			
	感知器	差動式分布型 露出･１個	1.0	式			
	感知器	差動式分布型 露出･２個	1.0	式			
	立会検査費	Ｐ型１級	1.0	工事			
	撤去工事		1.0	式			
	計						

平成27年度　鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事

加東市

N
保育園
プール
プール付属棟
校舎
職員駐車場
祠
メタセコイヤ
電柱
鳥小屋
電柱
運動場
便所
体育館
来客駐車場
凡　例
調査建物
既存建物
出入口
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか
改修工事
図面名
配置図
縮　尺
S=1:700
検
印
No.
27.04.06
A-01

建築改修工事特記仕様書

※設計図書優先順位
①質疑回答書 ②現場説明書 ③特記仕様書 ④設計図 ⑤標準仕様書

1．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし，「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に⊙印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。
⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の〈 〉、（ ）及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3．特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・構造特記仕様書　⊙電気設備工事特記仕様書　⊙機械設備工事特記仕様書
⊙解体工事特記仕様書　・外構工事特記仕様書　・植栽工事特記仕様書
・　・　・

4．そ の 他
石綿等の取扱いについては，石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)（以下、「石綿則」という。）を遵守すること。

5．工事の概要
・(1) 校舎多目的ホール天井改修
・(2) トップライト鋼板噴改修
・(3)

章	項	項 目	特 記 事 項

1、一般共通事項

① 適用範囲
⊙本仕様書は、建築物等の模様替え及び修繕(以下「改修」という。)係る建築工事に適用する。

② 適用基準等
⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　最新版）
⊙建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　最新版）
⊙営繕工事写真撮影要領 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　最新版）

③ 一般事項
⊙工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。
⊙請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
⊙施工体系図を現場に掲示すること。
・

④ 工事実績情報(CORINS)の登録
・適用しない 〈1.1.4〉
⊙適用する（請負精算額が500万円以上の場合）
受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
（請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ）

⑤ 施工体制
⊙下請契約の総額が4,500万円を超える場合は，施工体制台帳及び施工体系図を提出する。

⑥ 発生材の処理等
⊙発生材の処理は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理および清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針、その他関係法令によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理し監督職員に報告する。
⊙廃棄物の処理を委託する場合には、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と「建設廃棄物処理委託契約書」により書面で委託契約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃棄物処理委託契約書の写しより書面で委託契約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃棄物処理委託契約書の写しを工事監督員に提出しなければならない。
⊙産業廃棄物が委託内容どおり処理されたことを確認するものとして、「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」を使用しなければならない。また、運搬車両ごとに処分(中間処理)が済み次第、速やかにA票、B2票、D票の写しを工事監督員に提出し、最終処分等については、確認出来次第、速やかに確認資料(E票等)の写しを、工事の完了に関係なく、工事監督員に提出するものとする。
⊙工事着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、工事監督員の承諾を得ること。
⊙竣工検査時までに「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること
⊙引き渡しを要するもの（　）
⊙現場において再利用を図るもの（　）
⊙再生資源化を図るもの
⊙コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　⊙建設発生木材
⊙金属類　⊙プラ類　⊙ガラス類
・特別管理産業廃棄物（図示による）

7 電気保安技術者
・適用する　・適用しない 〈1.3.3〉

⑧ 事故報告
⊙工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。 〈1.3.10〉

⑨ 建築材料等
材料の品質等 〈1.4.2〉
⊙本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
⊙現場に搬入した材料は、種別ごとに監督職員の検査を受ける。

環境への配慮 〈1.4.1〉
⊙本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

⊙ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合
該当する建築材料
1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
3）次の表示のあるＪＡＳ適合品
ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
ｂ．接着剤等不使用
ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

10 室内の空気中の化学物質濃度の測定
・ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 〈1.6.9〉(1.5.9)
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
・測定対象物質
・ホルムアルデヒド（濃度指針値 100μg/m3 ・ 0.08ppm)
・スチレン（濃度指針値 220μg/m3 ・ 0.05ppm)
・トルエン（濃度指針値 260μg/m3 ・ 0.07ppm)
・エチルベンゼン（濃度指針値 3,800μg/m3 ・ 0.88ppm)
・キシレン（濃度指針値 870μg/m3 ・ 0.20ppm)
・パラジクロロベンゼン（濃度指針値 240μg/m3 ・ 0.04ppm)
・測定する室等：（　）
・採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では８時間採取する。
・測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を２部提出する。
・測定結果
・試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
・測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。
・総揮発性有機化合物の測定
測定方法，測定物質及び測定か所等については，末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。
・室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

⑪ 特別な材料の工法
「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

12 建築基準法による風圧力等の指定
〈3.5.4〉〈3.9.3〉〈5.12.5〉(13.2.3)(13.3.3)

適 用 工 事	建築基準法の指定
・合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0)　・
・アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・　・
・折板屋根葺	多雪地域の指定　・有　・無
・金属板屋根葺	
・ガラスブロック	

13 設計ＧＬ
・図示　・現状平均地盤高

14 施工調査
施工数量調査 〈1.5.2〉
・既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 〈1.5.3〉

調査項目	調 査 範 囲	調査方法	成 果 品

15 技能士
・適用する 〈1.6.2〉
・適用しない

⑯ 工事経過記録
⊙工事経過報告書を、毎月１回監督職員に提出する。
（内容：日誌、天候、工事進捗状況、工事進捗状況写真、その他監督職員の指示する事項）

⑰ 工事関係図書（提出書類）
⊙下記に定める図書等を監督職員に提出し承諾を受ける。監督職員は下記に定める他、必要な図書の提出を求めることがある。
⊙提出部数は各　２ 部
⊙工事着手届　⊙現場代理人届　⊙監理(主任)技術者届　⊙コリンズ登録写
⊙総合施工計画書　⊙工種別施工計画書　⊙実施工程表　⊙下請業者承諾願
⊙質疑応答書　⊙施工図等　⊙使用材料機器等承諾　⊙コンクリート調合表
⊙各種材料試験成績表　⊙工事日報　⊙工事写真　⊙工事記録報告書
⊙工事完了届　⊙引渡書　⊙保証書　⊙その他関係書類一式

⑱ 完成時の提出書類
・作成しない 〈1.8.1〉〈1.8.2〉〈1.8.3〉
⊙作成する
⊙完成図（⊙意匠図　・構造図　⊙設備図　・外構図　・造成図）を提出。
（⊙原図：設計図書の原図訂正を可とする。）　提出部数 1 部
⊙原図版２つ折製本（表紙文字入）　提出部数 2 部
・縮小版２つ折製本（Ａ３版）(表紙文字入)　提出部数　部
・縮小版２つ折製本（Ａ４版）(表紙文字入)　提出部数　部
⊙完成図面データ（ＣＤ）　提出枚数 1 枚
（完成図面データはJWW形式又はDXF形式とする。）
・施工計画書　提出部数 2 部
・施工図　提出部数 2 部
・保全に関する資料　提出部数 2 部
・官公署届出書類
・建築物等の保守に関する説明書
・主要な材料・機器一覧表
・機器取扱い説明書
・機器性能試験成績書

⑲ ＣＡＤデータ
⊙ＣＡＤデータは(・有償　⊙無償　)で配布する。

⑳ 完成写真
・作成しない
⊙作成する

分類	サイズ	撮影箇所数	部 数	提出様式
⊙カラー ・白黒	⊙Ｌ ・２Ｌ ・六切り	⊙写真撮影要領の完成写真程度 ・　箇所　枚 ・	⊙１部 ・　部	⊙工事用アルバムＡ４版 ポケット式程度 ・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度） ・

・完成写真の撮影業者は監督職員の承諾する撮影業者とする。

㉑ 設備工事との取合い
施工範囲　各工事の区分表による。
施 工 図　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

㉒ 火災保険等
工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類　⊙ 火災保険　・ 建設工事保険　・
保険期間　⊙ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・

㉓ その他
⊙現場には必ず設計図･見積書･共通仕様書を各１部おいておくこと
⊙工事のため隣家、通行者、第三者等への損害、補償及び補修は請負者の負担とする。
⊙近隣に対して着工前に適切なる処置をなし、工事の円滑を計るようにする。
⊙設計図書に指示ある事項であっても、施工者が適当でないと認めたものは、事前に訂正を申し出て、係員の指示・決定通り施工すること。適当でないと知りつつ施工してはならない。
⊙工事用車輌の出入口には必要に応じ警備員を配置し、通行人や車両への配慮を十分に行うこと。
⊙周辺に配慮した仮設計画を作成し、係員の承諾を受ける事。
⊙工事に必要な申請は請負業者が行う事。

2、仮設工事

① 仮囲い
⊙設けない
・設ける（・仮囲いの位置及び延長は図示による。）
・仮囲い（・ガードフェンス　H＝ 1.8 m　・　H＝　m ）
・門　（・キャスターゲート・パネルゲート）　W＝ 6.0 m×H＝ 1.8 m

2 危険防止
・シート張り
・金網養生枠

③ 交通誘導員
・配置しない
⊙配置する（　日 ×　人 ＝　人日）

④ 工事表示板
・設置しない
⊙設置する（設置枚数　１枚）

⑤ 足場その他
〈2.2.1〉〈表2.2.1〉〈表2.2.2〉
⊙内部足場　種別（⊙脚立，足場板　）
⊙外部足場　種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種）
・防護シートによる養生　（・設ける　・設けない）
⊙材料、撤去材等の運搬　（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種）
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年４月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

⑥ 養生
⊙既存部分の養生　（⊙行う　・行わない） 〈2.3.1〉
⊙既存家具等の養生　（⊙行う　・行わない）
・固定家具等の移動　（・行う　・行わない）
・既存ブラインド，カーテンの等養生及び保管　（・行う　・行わない）
保管場所　（　）
養生の方法（　）

7 仮設間仕切り
・設けない 〈2.3.2〉〈表2.3.1〉
・設ける(図示)
仮設間仕切等の種別

種別	下地	仕上材（厚さ mm)	充填材	塗装
⊙Ａ種	・軽量鉄骨	⊙合板（・　）	吸音材	⊙なし
・Ｂ種	⊙木下地	・石膏ボード（・　）	厚さ 30 mm	・片面
・Ｃ種	・単管下地	・防炎シート	－	－
⊙仮設扉	⊙木製扉 ・鋼製扉	⊙合板張り程度 ・片面フラッシュ程度	－	⊙なし ・あり

8 監督職員事務所
⊙設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） 〈2.4.1〉
・設ける　（規模　㎡程度）
（請負者事務所と同棟　・可　・否）
（備品　）

⑨ 工事用水
構内既存の施設　・利用できない
⊙利用できる（⊙有償　・無償）

⑩ 工事用電力
構内既存の施設　・利用できない
⊙利用できる（⊙有償　・無償）・溶接などの消費電力の大きな機器を除く

⑪ 工事用通路
・指定しない　⊙指定する（図示）

⑫ その他の仮設
⊙その他必要に応じ対応のこと。
・

⑬ その他
⊙騒音の発生する工事は、原則土日祝に行なわないこと。但し、施設担当者との協議しだいでは工事可能とする。
⊙工事上撤去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。
⊙工事施工にあたり、付近住民･通行人･工作物に損害を与えないよう必要な保護設備を計画し係員及び各関係人の承諾を得て施工する。万一損害を与えた場合は速やかに応急手当、復旧しこれに要した費用は請負者の負担とする。
⊙その他図示及び現場指示事項による。
・
・

3、防水改修工事

1 アスファルト防水
改修工法の種別 〈3.1.4〉〈3.3.3〉〈表3.1.1〉〈表3.3.3～10〉

新規防水層の種別	改 修 工 法 の 種 類	施 工 箇 所
・Ｄ－１		
・ＤＩ－１		
・Ｅ－１		

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※３種 〈3.2.2〉
脱気装置　・設ける　・設けない 〈3.3.3〉
種　類　・平面部脱気型　・立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

2 伸縮調整目地
・成型伸縮目地（天端　ＥＰＴゴム，サイド　ブチルゴム製） 〈3.3.2〉〈3.3.5〉

3 改質アスファルトシート防水
改修工法の種別 〈3.1.4〉〈3.4.3〉〈表3.1.1〉〈表3.4.1～2〉

新規防水層の種別	改修工法の種類	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・ＡＳ－１			・カラー ・シルバー
・ＡＳ－４			
・ＡＳＩ－１			

脱気装置　・設ける　・設けない 〈3.4.3〉
種　類　・平面部脱気型　・立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

4 合成高分子系ルーフィングシート防水
改修工法の種別 〈3.1.4〉〈3.5.3〉〈表3.1.1〉〈表3.5.1〉

新規防水層の種別	改修工法の種類	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・ＳＭ－２			・カラー ・シルバー
・			
・			

脱気装置　・設ける　・設けない 〈3.5.3〉
種　類　・平面部脱気型　・立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

5 塗膜防水
改修工法の種別 〈3.1.4〉〈3.6.3〉〈表3.1.1〉〈表3.6.1〉

新規防水層の種別	改修工法の種類	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・Ｘ－１			・カラー ・シルバー
・Ｘ－２			
・			

脱気装置　・設ける　・設けない 〈3.6.3〉
種　類　・平面部脱気型　・立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

6 シーリング材料の種別及び施工箇所
・被着体に応じたものとし、〈表3.7.1〉を標準とする。 〈3.7.2〉〈表3.7.1〉
・〈表3.7.1〉によらない箇所及びシーリング材料

〈表3.7.1〉によらない箇所	シ ー リ ン グ 材 料

7 シーリング改修工法
改修工法の種別 〈3.1.4〉〈3.7.4～8〉〈表3.1.2〉

改修工法の種類	施 工 箇 所
・シーリング充てん工法	
・シーリング再充てん工法	
・拡幅シーリング充てん工法	
・ブリッジ工法（　）	

8 とい
・といの材種等 〈3.8.2〉〈表3.8.1〉〈表3.8.3～4〉

材 種	防 露
・配管用鋼管（ＳＧＰ）	・〈表3.8.3～4〉により行う
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP－VU）	

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。
・鋼管製樋の防露巻き　（・〈表3.8.4〉による。　） 〈3.8.3〉〈表3.8.4〉
・縦とい受け金物の取付け　（・図示　・　）

9 ルーフドレイン
・鋳鉄製 〈3.8.3(h)〉〈表3.8.1〉
・縦型　・横型

10 アルミニウム製笠木
部材の種類 〈3.9.2〉〈表3.9.1〉〈表5.2.2〉

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考
・250形	・1.6以上	・Ａ－１種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	・隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。
・300形	・1.8以上	・Ａ－２種		
・350形	・2.0以上	・Ｂ－１種		
・		・Ｂ－２種		

・板材折曲げ形の取付工法　（・図示　・　）

11 防水保証
・アスファルト防水，改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は，引渡しの日から10年間とし，施工業者との連名の保証書を提出する。塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間として，作成し提出する。

12 その他
・

5、建具改修工事

1 一般事項
改修工法 〈5.1.3〉
・かぶせ工法　・撤去工法
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。
見本の作成等 〈5.1.5〉
製　作　・行わない　・行う（建具表による）
仮　組　・行わない　・行う（建具表による）
防犯建物部品　・使用しない　・使用する（建具表による） 〈5.1.7〉

5 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセット
※使用する(適用箇所は図示による)
気密性　・Ａ－３　・ 〈5.4.2～4〉〈表5.4.1〉
・使用しない
戸の鋼板　・表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具　・使用する　・使用しない 〈5.4.6〉
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり　・鋼製　・アルミ製

7 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 (16.6.2～4)
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　・新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　・戸ふすま　・在来型　・チップ型

8 建具用金物
〈5.6.2〉〈表5.6.1〉

金物の種類	型 式	製 造 所
・モノロック		
・本締り付きモノロック		
・シリンダー箱錠		
・シリンダー本締り錠		
・ドアクローザー		
・フロアヒンジ		
・ヒンジクローザー	内 蔵 型	
・ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
・レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。
マスターキーの作成　・要　・不要
・不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

13 ガラス
・外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
・ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
ガラスの留め材
・シーリング　・ガスケット（可動アルミ建具に限る）
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。
ガラスの溝幅については、〈表5.12.1〉による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。
複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。

14 その他
飛散防止フィルム貼

6、内装改修工事

① 改修範囲
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 〈6.1.3〉
・壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
・壁面より両側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
・既存のまま
・図示の範囲

2 既存床の撤去・下地補修
既存床仕上げの除去方法 〈6.2.2(a)〉
・標準仕様書による。

③ 改修後の床の清掃範囲
⊙当該室全体　・図示の範囲 〈6.2.2(c)〉

4 既存壁の撤去・下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 〈6.3.2(a)〉
・〈4.4.9〉による　・（　）

9 軽量鉄骨天井下地材
野縁などの種類 〈6.6.2〉〈表6.6.1〉
屋内　・１９型　・２５型（室名：　）
屋外　・１９型　・２５型
インサート
・既存インサートを使用する　・あと施工アンカーを設ける 〈6.6.4(a)〉
あと施工アンカーの引抜き試験
・行う　・行わない 〈6.6.4(a)〉
耐震性を考慮した補強
・行わない　・行う(補強方法と補強箇所は図示による) 〈6.6.4(i)〉
耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
・行わない　・行う(補強方法と補強箇所は図示による) 〈6.6.4(k)〉

⑩ 軽量鉄骨壁下地材
スタッド，ランナーなどの種類は〈表6.7.1〉による。 〈6.7.3〉〈表6.7.1〉

11 体育館の鋼製床下地
・JIS A 6519のJIS表示認証製品

12 ビニル床シート張り
JIS A5705のJIS表示認証製品 〈6.8.2〉〈6.8.3〉

種 類	記号	色 柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
・発泡層のないもの	・ＦＳ ・ＴＳ	・無地 ・マーブル	・2.0 ・2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	・熱溶接 ・突付け
・発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・	・	・	・

13 ビニル床タイル張り
JIS A5705のJIS表示認証製品 〈6.8.2〉

種 類	記 号	寸 法	厚さ(mm)	特殊機能
・コンポジションビニル床タイル	※ＫＴ	※300×300 ・	※2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ホモジニアスビニル床タイル	・ＦＴ	・300×300 ・450×450	・2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

14 ビニル床タイル ビニル床シートの特殊機能
帯電防止
・帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満
耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

15 視覚障害者用床タイル
〈6.8.2〉

材 質	寸 法 (mm)
・塩化ビニル系　・せっ器質タイル系	３００×３００

16 ビニル幅木
材種　・軟質　・硬質　・溶接 〈6.8.2〉
高さ（mm）　・６０　・７５　・１００
厚さ（mm）　・１．５　・２．０

20 石こうボード その他ボード張り
〈6.13.2～3〉〈表6.13.1〉〈表6.13.5〉

種類又は記号	種別など	部位	厚さ (mm)	規格番号
⊙けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8(不燃) ・10(不燃) ・12(不燃)	JIS A 5430（タイプ2)
		天井	⊙ 6(不燃) ・12(不燃)	
・グラスウール吸音ボード（吸音材料）ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品		・25(不燃)	JIS A 6301 (32K)
⊙ロックウール化粧吸音板（吸音材料）ＤＲ	⊙ 内部用 ・ 軒天用	普通	・ 9(不燃) ⊙12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・12(不燃) ・15(不燃) ・19(不燃)	
⊙せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ⊙12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ・12.5(不燃)	
・シージングせっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｓ		壁	・12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ・12.5(準不燃)	
⊙化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色 ⊙白 ・黄	天井	⊙ 9.5(不燃)	JIS A 6901
・化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｄ	木目模様 木目模様（裏桟付き） 特殊模様	壁	・ 9.5(準不燃) ・12.5(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ・12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理　・継目処理工法　⊙突き付けＶ目地工法
・突き付け工法　・目透し工法

21 遮音シール材
・アクリル系シーリング材　・ジョイントコンパウンド 〈6.13.2〉

22 壁紙張り
〈6.14.2〉

施 工 箇 所	品 質	防 火 種 別
		・不燃　・準不燃　・その他
		・不燃　・準不燃　・その他
		・不燃　・準不燃　・その他
		・不燃　・準不燃　・その他

23 タイル張り
タイルの種類 〈6.16.3〉

施工箇所	形状寸法 (mm)	きじ 磁器	きじ 陶器	きじ 炻器	うわ薬 施釉	うわ薬 無釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備 考
浴室 床	150角	⊙	・	・	・	・	・	・	・	・		
浴室 壁	100角	・	⊙	・	・	・	・	・	・	・		
汚物 壁	100角	・	⊙	・	・	・	・	・	・	・		

タイルの見本焼き　※行わない　・行う
内装タイルの工法 〈6.16.5〉〈表6.16.5〉
・積上げ張り　施工箇所（　）
・接着剤張り　施工箇所（　）

24 セルフレベリング材塗り
種別　・石こう系　⊙セメント系 〈6.17.2～3〉
塗厚　・10mm　⊙15mm～

7、塗装改修工事

1 防火材料
〈7.1.3〉
⊙屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
・次の箇所を除き防火材料とする。　（　）

2 錆止塗料塗り
〈7.3.2～3〉〈表7.2.2～3〉〈表7.3.1～4〉

下 地	種別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別
鉄鋼面	新規	⊙RA種　・RB種　・RC種	⊙A種(見え掛かり) ・B種(見え隠れ)	⊙A種 ・B種
	塗替	・RA種　⊙RB種　・RC種	・A種　・B種　⊙C種	〈9節の場合〉
亜鉛めっき鋼面	新規建具	・RA種　・RB種　・RC種	・A種　・B種　・C種	・A種　・B種 ・C種 〈9節の場合〉
	新規	・RA種　・RB種　・RC種	・A種　・B種　・C種	
	塗替	・RA種　・RB種　・RC種	・A種　・B種　・C種	

3 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）
〈7.2.2〉〈7.4.2～5〉〈表7.2.1～3〉〈表7.4.1～3〉

下 地	種別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別
木部	新規	・RA種　⊙RB種　・RC種	・A種(外部) ⊙B種(内部)　・C種	⊙1種 ・2種
	塗替	・RA種　⊙RB種　・RC種	・A種　⊙B種　・C種	
鉄鋼面	新規	⊙RA種　・RB種　・RC種	・A種　⊙B種　・C種	⊙1種 ・2種
	塗替	・RA種　⊙RB種　・RC種	・A種　⊙B種　・C種	
亜鉛めっき鋼面	建具塗替	・RA種　・RB種　・RC種	・A種　・B種　・C種	・1種 ・2種
	新規	・RA種　・RB種　・RC種	・A種　・B種　・C種	
	塗替	・RA種　・RB種　・RC種	・A種　・B種　・C種	

4 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）
〈7.2.5～7〉〈7.10.2〉〈表7.2.4～7〉〈表7.10.1〉

下 地	種別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別
コンクリート面 ＡＬＣパネル面 押出成形セメント板面	新規	⊙RA種　・RB種　・RC種	⊙A種　・B種　・C種	⊙1種
	塗替	・RA種　⊙RB種　・RC種	・A種　⊙B種　・C種	
モルタル面 プラスター面	新規	・RA種　⊙RB種　・RC種	⊙A種　・B種　・C種	⊙1種
	塗替	・RA種　⊙RB種　・RC種	・A種　⊙B種　・C種	
石こうボード その他のボード等の面	新規	⊙RA種　・RB種　・RC種	⊙A種　・B種　・C種	⊙1種
	塗替	⊙RA種(継目処理工法) ⊙RB種(その他) ・RC種	・A種　⊙B種　・C種	

13、ユニット及びその他の工事

2 可動間仕切（パーテーション）
構造形式による種類　スタッド式密閉形 (20.2.3)
構成材の種類　アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板（標準色）t=0.5以上
遮音性　36dB以上
防火性能　不燃

3 移動間仕切（スライディングドア）
パネルの操作方法による種類　規定しない (20.2.4)
パネル表面材の材質及び仕上　製造所仕様の化粧鋼板（標準色）t=0.5以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性　36dB以上
防火性能　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4 トイレブース
表面材　メラミン化粧板 (20.2.5)
幅　木　ステンレス製 H＝６０
フレーム　アルミ製
扉　厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5 階段滑り止め（ノンスリップ）
材　種　ステンレス（ＳＵＳ３０４） (20.2.6)
ビニールタイヤ入り（幅約35mm)
取り付け方法　・接着工法　・埋込み工法

6 床目地棒
ステンレスＦＢ（ＳＵＳ３０４）　ｔ５～６×Ｈ１２ (20.2.7)
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7 鏡
・耐湿鏡　・耐食鏡 (20.2.9)

8 表　示
・衝突防止表示　ステンレス製　ＨＬ仕上げ　Φ３０程度　市販品 (20.2.10)
・誘導標識　市販品
・室名札：ピクトサイン(男子用・女子用・身障者用)

9 点検口

施工箇所	材 種	寸 法	形 式	特 記
天井	⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ⊙600×600	⊙目地タイプ ・額縁タイプ	
床	・アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600	・一般型貼物用 ・一般型充填用	

10 視覚障害者用誘導ブロック
・ブロックパターンはＪＩＳ　Ｔ９２５１による。

色彩	・黄色を原則とする
屋内	・塩化ビニル製　・磁器又は炻器質タイル　・レンジコンクリート製
屋外	・塩化ビニル製　・磁器又は炻器質タイル　・レンジコンクリート製

11 鍵箱
形式（・３０組用　・６０組用　・１２０組用　・　）

12 くつふきマット
材質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受け枠）
・ステンレス製（受け枠共）　・ビニル製（ステンレス製受け枠）
・硬質アルミニウム製（受け枠共）　・

13 流し台ユニット
・参考メーカー（　）

種類	寸法（Ｌ＝ mm)	適用内容
・流し台	・	トラップ付
・コンロ台	・	バックガード有り
・レンジフード	・	
・	・	

14 洗面カウンター

材種	・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行寸法（mm)	・４５０　・６００　・

15 その他

・天井見切り縁	・アルミ既製品　・ビニル既製品　・木製（図示による）
・ピクチャーレール	・天井用　・壁用　（フック数：　個／ｍ）
・手すり	・別紙図面による。
・カーテン	・
・カーテンレール	・天井吊型、壁付型
・建物銘板	・箱文字（２００×２００）５文字程度
・定礎石	・御影石　４００×５００×３０　（文字彫込み共）
・消火器	・ＡＢＣ粉末１０型（加圧式）
・消火器収納ボックス	・全埋込型　・半埋込型　・据置型　・壁掛型
・	・
・郵便受け	
・車止め支柱	
・屋外掲示板	
・	
・フェンス	
・門扉	
・タイヤ止め	
・	
・Ｕ型側溝	・１５０　・１８０　・２４０　・３００
・グレーチング	
・遊具	
・	
・	
・敷地境界石標	石標の種別（※Ｂ種（コンクリートブロック製市販品程度））
・	

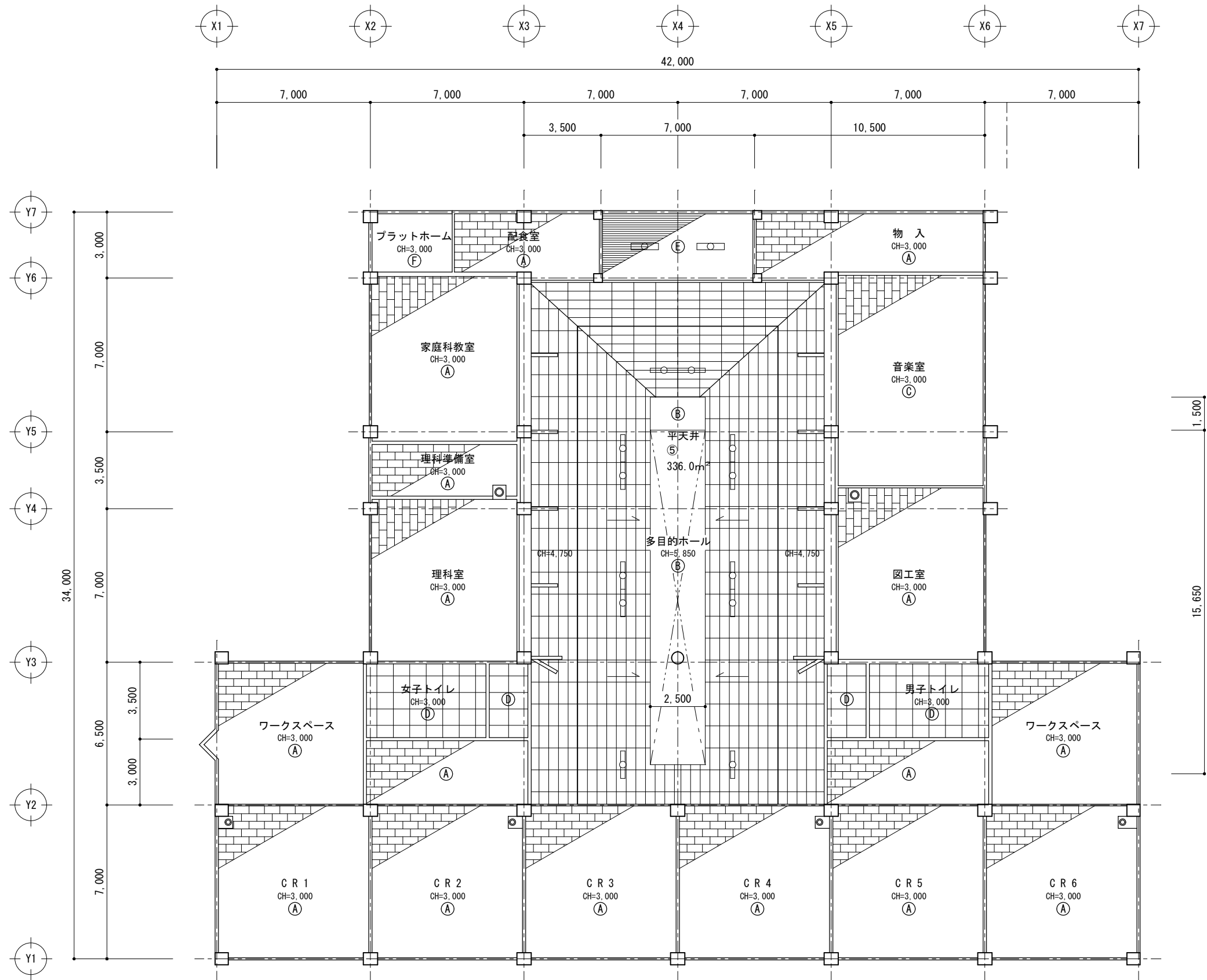
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	建築改修工事特記仕様書	検印
	縮 尺		

No. 27.04.06　A-01-1

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とする。

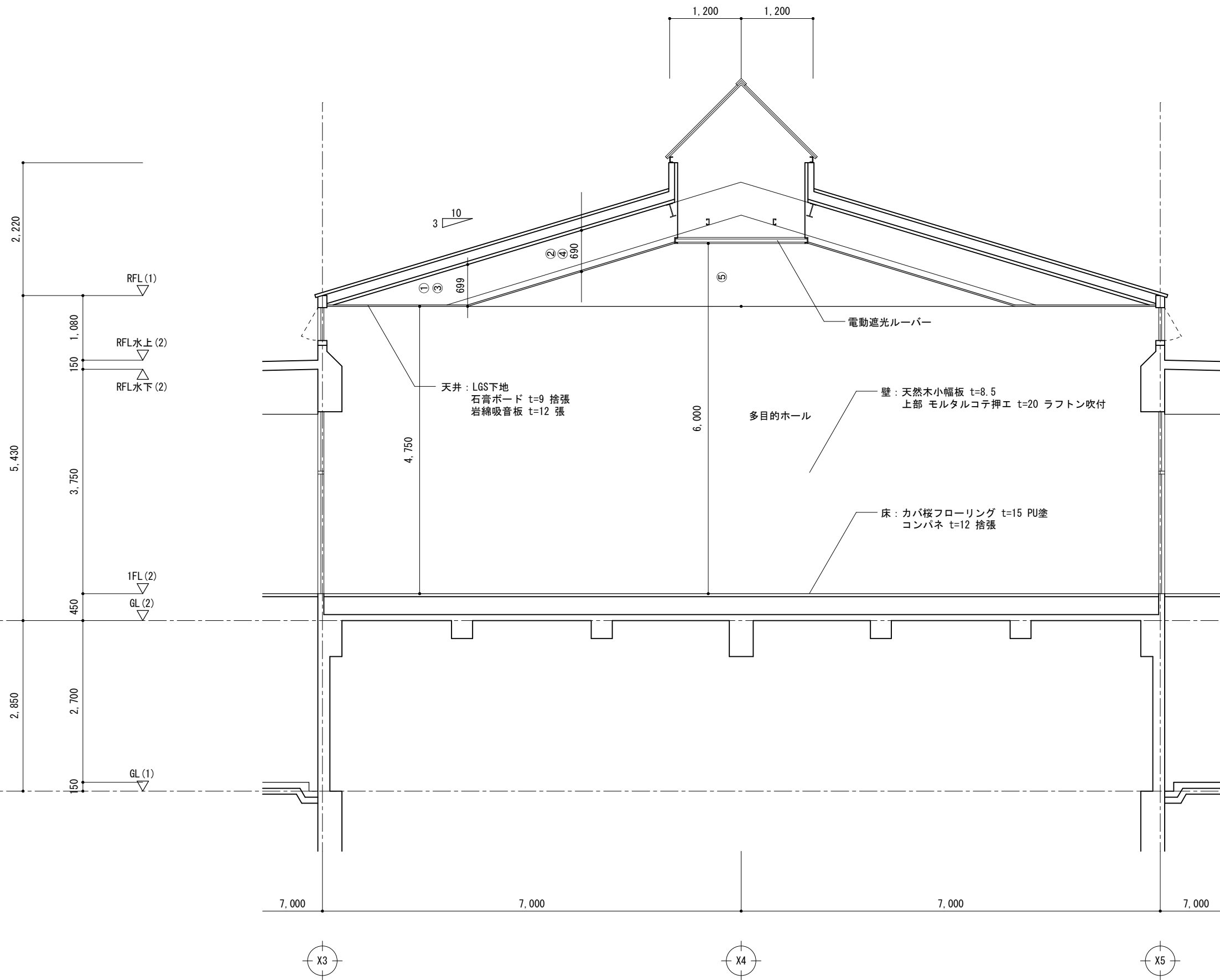
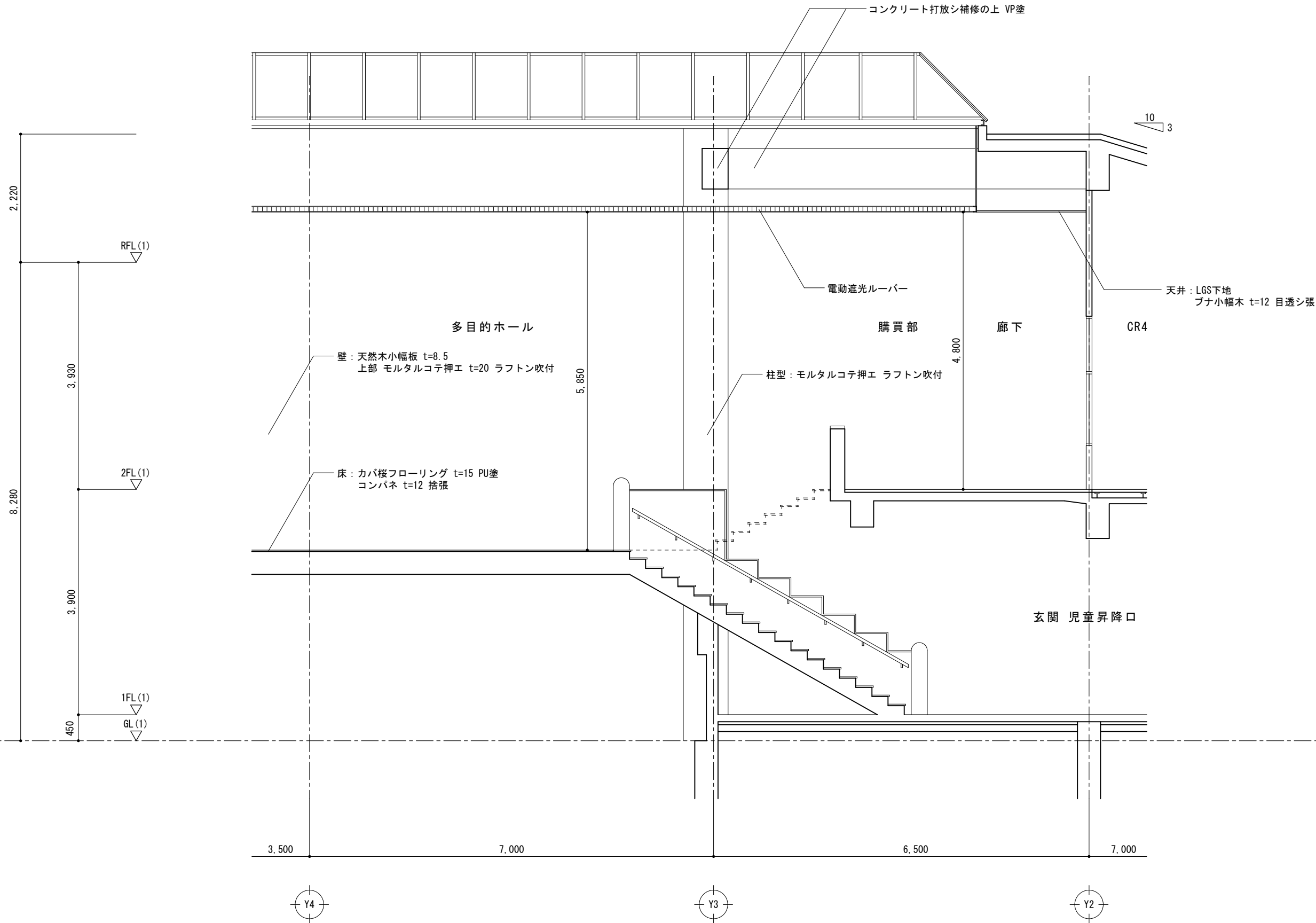
	平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	２階平面図（現況写真方向図）	検印	No.	27.04.06
		縮　尺	S=1:200			A-02

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	2階平面図	検印		No.	27.04.06
	縮　尺	S=1:200				A-03

X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
42,000
7,000
3,500
10,500
1,500
15,650
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
3,000
6,500
34,000
2,000
プラットホーム
CH=3,000
配食室
物　入
家庭科教室
音楽室
理科準備室
多目的ホール
CH=6,000
CH=4,800
理科室
図工室
女子トイレ
男子トイレ
ワークスペース
CR1
CR2
CR3
CR4
CR5
CR6
上
天井仕上げ 凡例
Ⓐ 化粧石膏ボード t=9
Ⓑ PB t=9 石綿化粧吸音板 t=12
Ⓒ PB t=9 石綿化粧吸音板 t=19
Ⓓ 石綿硅カル板 t=6 底目貼VP塗
Ⓔ ブナ小幅板 t=12 目透し貼
Ⓕ コンクリート打放シ アクリル系吹付タイル仕上
照明器具 凡例
蛍光灯 FL110W-2
蛍光灯 FL40W-2
凡例
天井改修範囲
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事
図面名 ２階天井伏図（写真）
縮　尺 S=1:200
検印
No.
27.04.06
A-04

天井仕上げ 凡例	
Ⓐ	化粧石膏ボード t=9
Ⓑ	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=12
Ⓒ	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=19
Ⓓ	石綿硅カル板 t=6 底目貼VP塗
Ⓔ	ブナ小幅板 t=12 目透し貼
Ⓕ	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ仕上

照明器具 凡例	
	蛍光灯 FL110W-2
	蛍光灯 FL40W-2

	平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	２階天井伏図	検印		No.	27.04.06
		縮　尺	S=1:200				A-05

X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
42,000
5,700
1,300
7,000
14,000
7,000
1,300
5,700
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
1,100
3,000
20,500
34,000
2,000
13,500
2,300
1,800
500
2,700
高架タンク
ALC版下地 パーライトモルタル t=40
アスファルトルーフィング 22kg敷
化粧石綿スレート瓦葺
屋根勾配3/10
高分子ルーフィング露出防水 t=1.2
カラーペイント塗
煙突
アルミ笠木
水切：フッ素鋼板 t=0.6
谷樋：フッ素鋼板 t=0.6
ルーフドレン 打込型 竪樋VP100
ゴムアスファルトルーフィング t=1.5
アルマット t=2.5貼り
棟包：化粧石膏スレート瓦 同質材
棟包：フッ素鋼板 t=0.6 差物
RC下地パーライトモルタル t=40
アスファルトルーフィング 22kg敷
化粧石綿スレート瓦葺
屋根勾配3/10
ステンレス角樋 t=1.5 100角
ステンレス受金物(両側)
600
600
1,600
2,500
16,000
2,500
2,500
16,000
2,500
1,600
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか
改修工事
図面名
屋根伏図
縮 尺
S=1:200
検印
No.
27.04.06
A-06

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	断面詳細図1	検印	No.	27.04.06
	縮　尺	S=1:70			A-07

コンクリート打放シ補修の上 VP塗
10
3
2,220
RFL(1)
電動遮光ルーバー
天井：LGS下地
ブナ小幅木 t=12 目透シ張
多目的ホール
購買部
廊下
CR4
4,800
壁：天然木小幅板 t=8.5
上部 モルタルコテ押エ t=20 ラフトン吹付
3,930
5,850
柱型：モルタルコテ押エ ラフトン吹付
2FL(1)
床：カバ桜フローリング t=15 PU塗
コンパネ t=12 捨張
8,280
3,900
玄関 児童昇降口
1FL(1)
GL(1)
450
3,500
7,000
6,500
7,000
Y4
Y3
Y2
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか
改修工事
図面名
断面詳細図2
縮　尺
S=1:70
検
印
No.
27.04.06
A-08

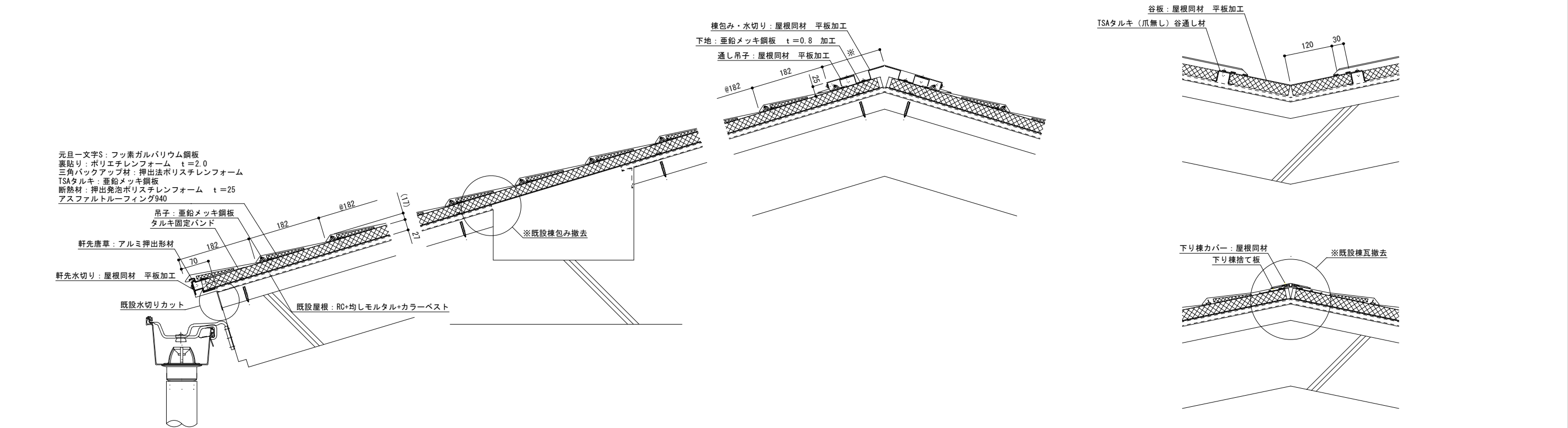
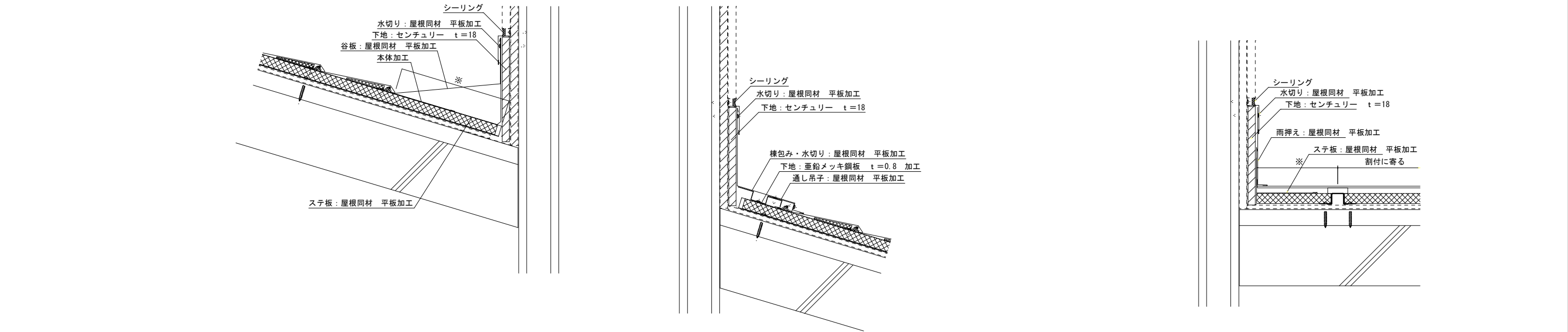
・RC造部納まり

元旦一文字S：フッ素ガルバリウム鋼板
裏貼り：ポリエチレンフォーム　t＝2.0
三角バックアップ材：押出法ポリスチレンフォーム
TSAタルキ：亜鉛メッキ鋼板
断熱材：押出発泡ポリスチレンフォーム　t＝25
アスファルトルーフィング940

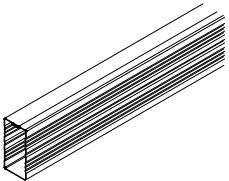
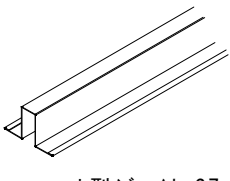
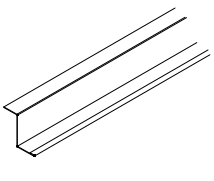
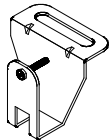
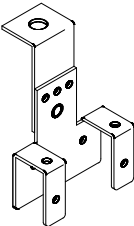
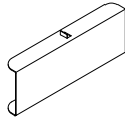
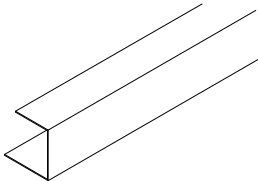
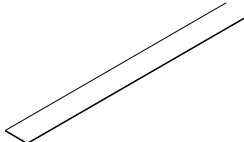
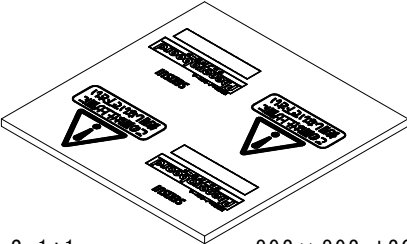
吊子：亜鉛メッキ鋼板
タルキ固定バンド
軒先唐草：アルミ押出形材
軒先水切り：屋根同材　平板加工
既設水切りカット
既設屋根：RC+均しモルタル+カラーベスト
70
182
182
@182
(17)
27
※既設棟包み撤去

棟包み・水切り：屋根同材　平板加工
下地：亜鉛メッキ鋼板　t＝0.8　加工
通し吊子：屋根同材　平板加工
※
@182
182
25

谷板：屋根同材　平板加工
TSAタルキ（爪無し）谷通し材
120
30

下り棟カバー：屋根同材
下り棟捨て板
※既設棟瓦撤去

・煙突廻り納まり

	平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	天井詳細図1	検印					No.	27.04.06
		縮　尺	S=1:10							A-09

天井仕上げ 凡例	
Ⓐ	化粧石膏ボード t=9
Ⓑ	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=12
Ⓒ	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=19
Ⓓ	石綿硅カル板 t=6 底目貼VP塗
Ⓔ	ブナ小幅板 t=12 目透し貼
Ⓕ	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ仕上

照明器具 凡例	
	蛍光灯 FL110W-2
	蛍光灯 FL40W-2

	図面名	計画 ２階天井伏図	検印	No.	27.04.06
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	縮　尺	S=1:200			A-11

部材一覧 S=1:6

天井施工例 S=1:20

※詳細納まりは施工図作成により係員と協議

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	標準図１	検印	No.	27.04.06
	縮　尺	S=1:10　1：20			A-12

（野縁受け平行方向）

@1820　150以内

フェノバSZハンガー@1820
ランナーKR40
18　40　25.5
野縁受け　フェノバSZCバー@910
フェノバボードフキンSZ（壁際）
ビス固定@910
ハット型ジョイナーSZ-S（L=889）@910
※ビス：スーパーフラットシルタップ4x13P
ハット型ジョイナーSZ-L（L=2730）@910
Z型ジョイナーSZ

（野縁受け直交方向）

910

フェノバSZハンガー@910
ランナーKR40
ランナーKR40
18　40　25.5
野縁受け（フェノバSZCバー）@910
※ビス：スーパーフラットシルタップ4x13P
フェノバボードフキンSZ（壁際）
ビス固定@455
ハット型ジョイナーSZ-L（L=2730）@910
ハット型ジョイナーSZ-S（L=889）@910
Z型ジョイナーSZ

フェノバＳＺフリーを用いた平天納まり

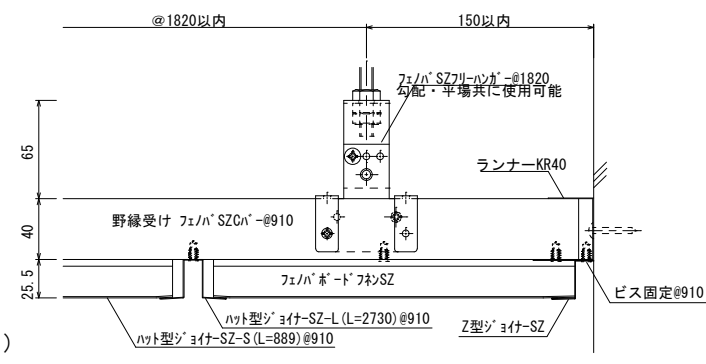
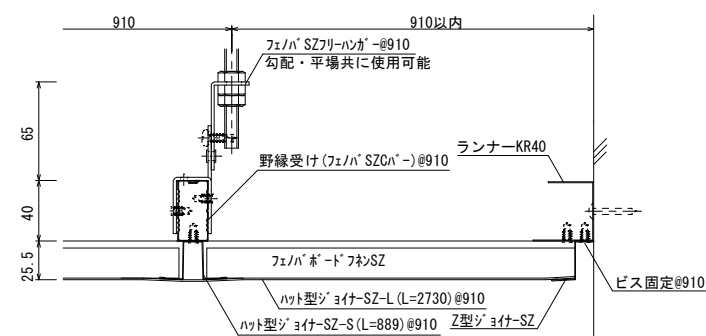
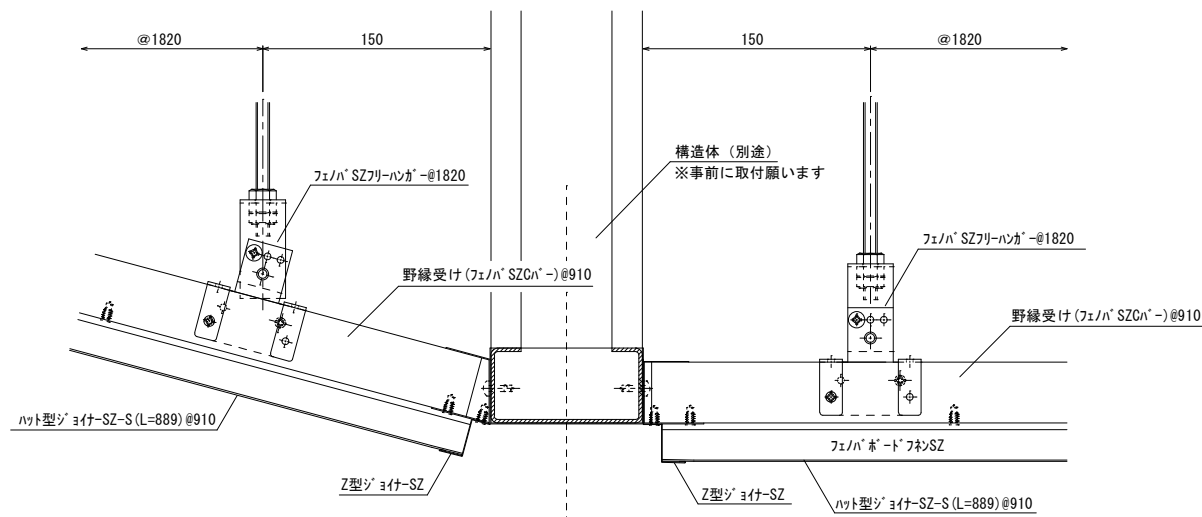
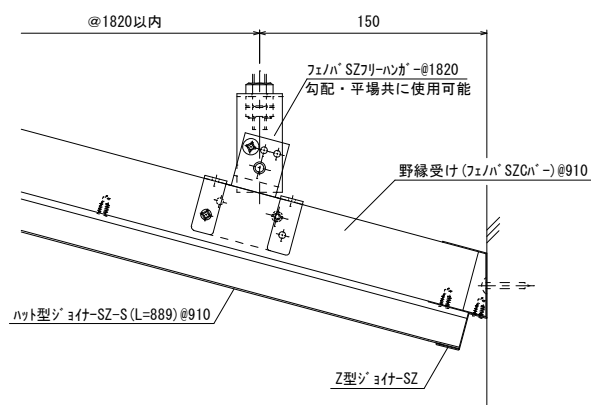
（野縁受け平行方向）

@1820以内　150以内

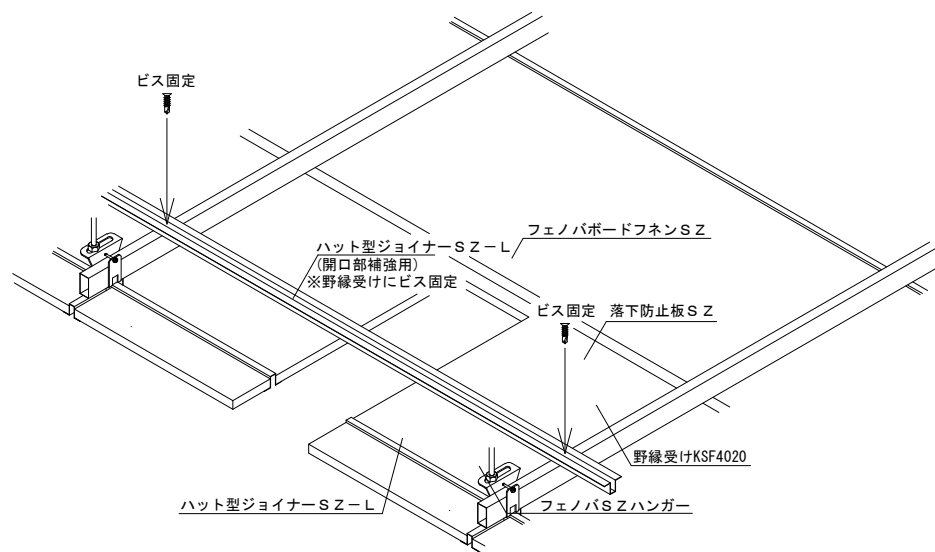
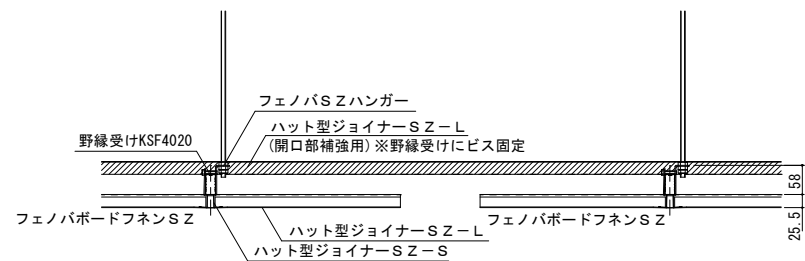
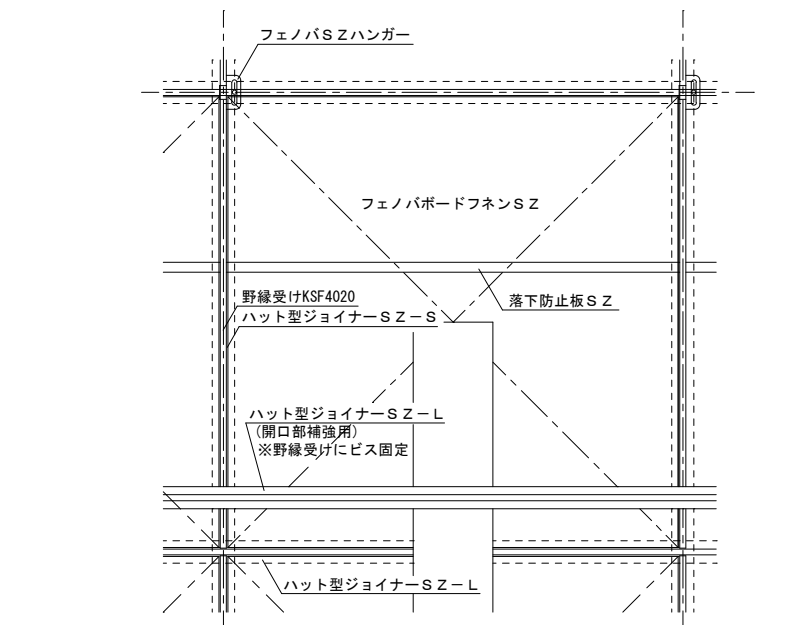
フェノバSZフリーハンガー@1820
勾配・平場共に使用可能
65　40　25.5
ランナーKR40
野縁受け　フェノバSZCバー@910
フェノバボードフキンSZ
ビス固定@910
ハット型ジョイナーSZ-L（L=2730）@910
ハット型ジョイナーSZ-S（L=889）@910
Z型ジョイナーSZ

（野縁受け直交方向）

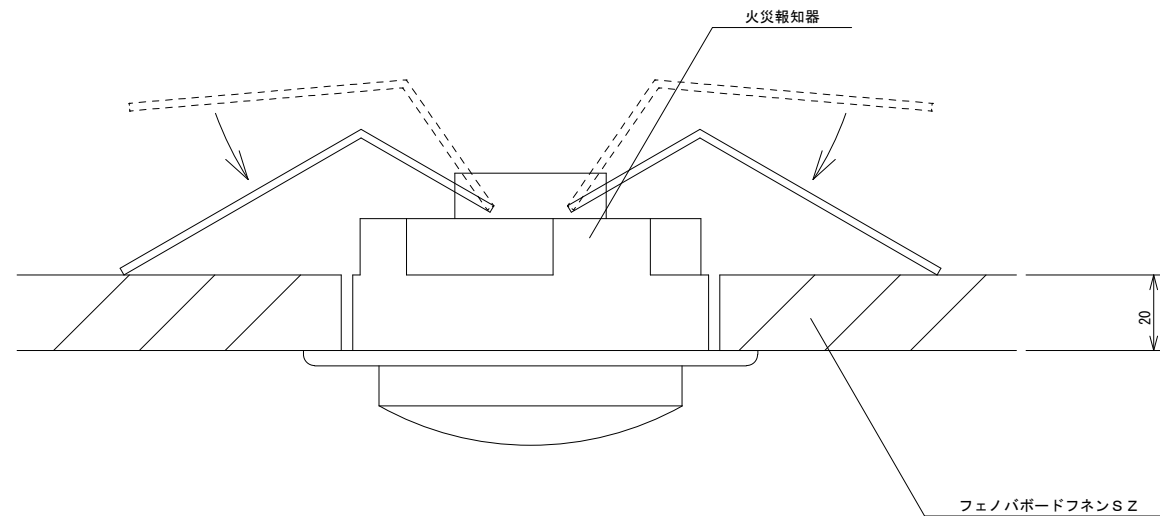
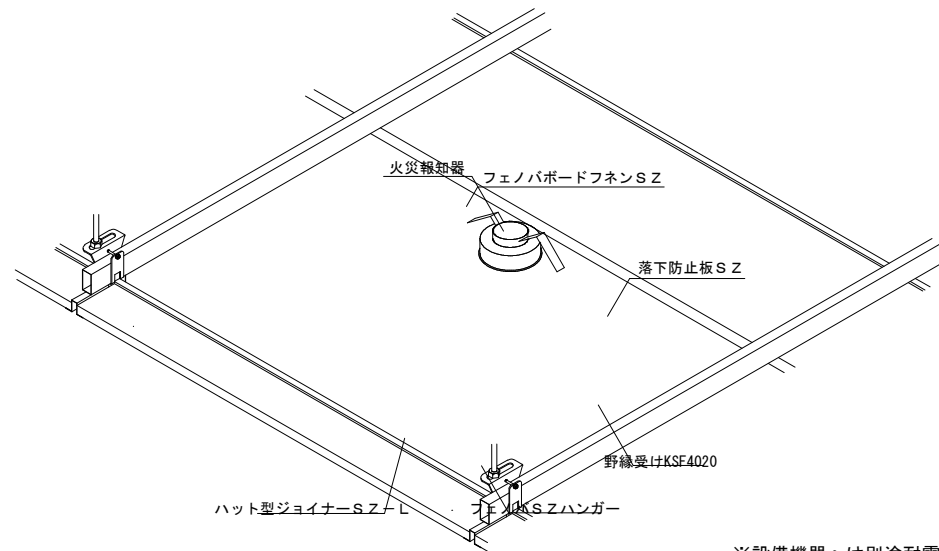
910　910以内

フェノバSZフリーハンガー@910
勾配・平場共に使用可能
65　40　25.5
ランナーKR40
野縁受け（フェノバSZCバー）@910
フェノバボードフキンSZ
ビス固定@910
ハット型ジョイナーSZ-L（L=2730）@910
ハット型ジョイナーSZ-S（L=889）@910
Z型ジョイナーSZ

フェノバSZフリーハンガーを用いた平天井天納まり

勾配ー平天井取合い①（構造体拘束納まり）

※詳細納まりは施工図作成により係員と協議

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	標準図２	検印	No-	27.04.06
	縮　尺	S=1:5			A-13

ハット型ジョイナーＳＺカット部分補強方法　S=1:15

火災報知器納まり図　S=1:2

No.

※設備機器へは別途耐震補強を設けてください。
※設備機器へは落下防止対策を設けてください。

火災報知器納まり図　S=1:15

※詳細納まりは施工図作成により係員と協議

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	標準図３	検印	No.	27.04.06
	縮　尺	S=1:5　S=1:15			A-14

工事名称　：　鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事

工事場所　：　別紙による

工事種目

1．　電灯	設備工事	1式	―
2．　火災報知	設備工事	1式	

優先順位　（設計図書の優先順位は下記による。）

（1）現場説明書、質疑回答書　（2）特記仕様書　（3）設計図　（4）標準仕様書

（5）上記いずれも記載なき場合、不明の場合は係員の指示による。

工事仕様

1．電気設備技術基準　2．電力会社内線規程　3．建築基準法・消防法

4．国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」（最新版）

5．国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」（最新版）

6．各諸官庁規則

一般事項

1．設計図書（現場説明書・質疑回答含む）に明記ない場合又は質疑が生じた時は係員と協議しその指示に従うこと。

2．工事施工に、必要な官公庁への手続き申請は速やかに行い、それに伴う費用は請負業者の負担とする。

3．施工済みの部分・未使用機器材料で損傷　又は汚染の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行うこと。

4．施工に先立ち関係工事業者と打合の上、工程表を作成し係員の承諾を受けること。

5．施工図・機器製作書・製作仕様書・見本等は速やかに提出し承認後、施工・製作のこと。

6．係員が指示した事項　又は協議した事項については記録し係員に提出する。尚係員が施工が適切な事を証明する
必要があると認め指示した場合は、工事写真・見本・試験成績表等を提出のこと。

7．工事が完成した時は係員立会の上、各種試験・検査を行い関係官庁の検査合格を以て竣工とする。

8．防火区画等の貫通

消防法による区画（共住区画）貫通処理については、（財）日本消防設備安全センター評定による事。

建築基準法による区画貫通処理については、　国土交通大臣認定工法による事。

9．提出書類

竣工時に於いて、下記の書類・図面等を提出すること。

1）工事写真　1部　　2）竣工図（製本）　原寸1部　A3縮小版2部

3）完成図書（内容は下記のとおり）　2部

①機器取扱説明書及び保証書　②各種試験成績書　③機器完成図

④予備品・消耗品リスト　⑤官公庁等届出書類　⑥マニフェストの写し

特記事項

機　　材	設備機材等は指定品、もしくは同等品以上とする。但し同等品以上とする場合は、係員の承諾を受ける。
電力　水	本工事に必要な工事用電力、水　及び諸手続き、申請などの費用は全て請負業者の負担とする。
色彩の指示	係員の指示に依る。
電　　線	特記なきものは、６００Ｖ耐燃性ポリエチレン絶縁電線（ＥＭ－ＩＥ／Ｆ）とする。
電 線 管	特記なきものは、合成樹脂可とう電線管（ＰＦ）とする。
配線　器具	大角型、　新金属プレート
呼 び 線	空配管には１．２mm以上の被覆鉄線を挿入し、行先表示札を取付のこと。
塗　　装	指定色塗装（２回塗）とする。
支 持 材	屋外での配管支持材、ビス等は、原則としてステンレス製とする。

共通仕様

廃棄物の処理

産業廃棄物は法令に従い適切に処理し工事ごとにマニュフェストで管理すること。Ａ・Ｂ２・Ｅ（Ｄ）票のコピーを提出すると
ともに、集計表を作成すること。以下の廃棄物はそれぞれの指示に従うこと。

１．ＰＣＢ使用機器

撤去品にＰＣＢ使用機器がある場合は監督員が指示する方法で現場に一時保管すること。

２．イオン化式感知器

イオン化式感知器を廃棄する際には「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」に基づき、感知器の製造者に送付すること。

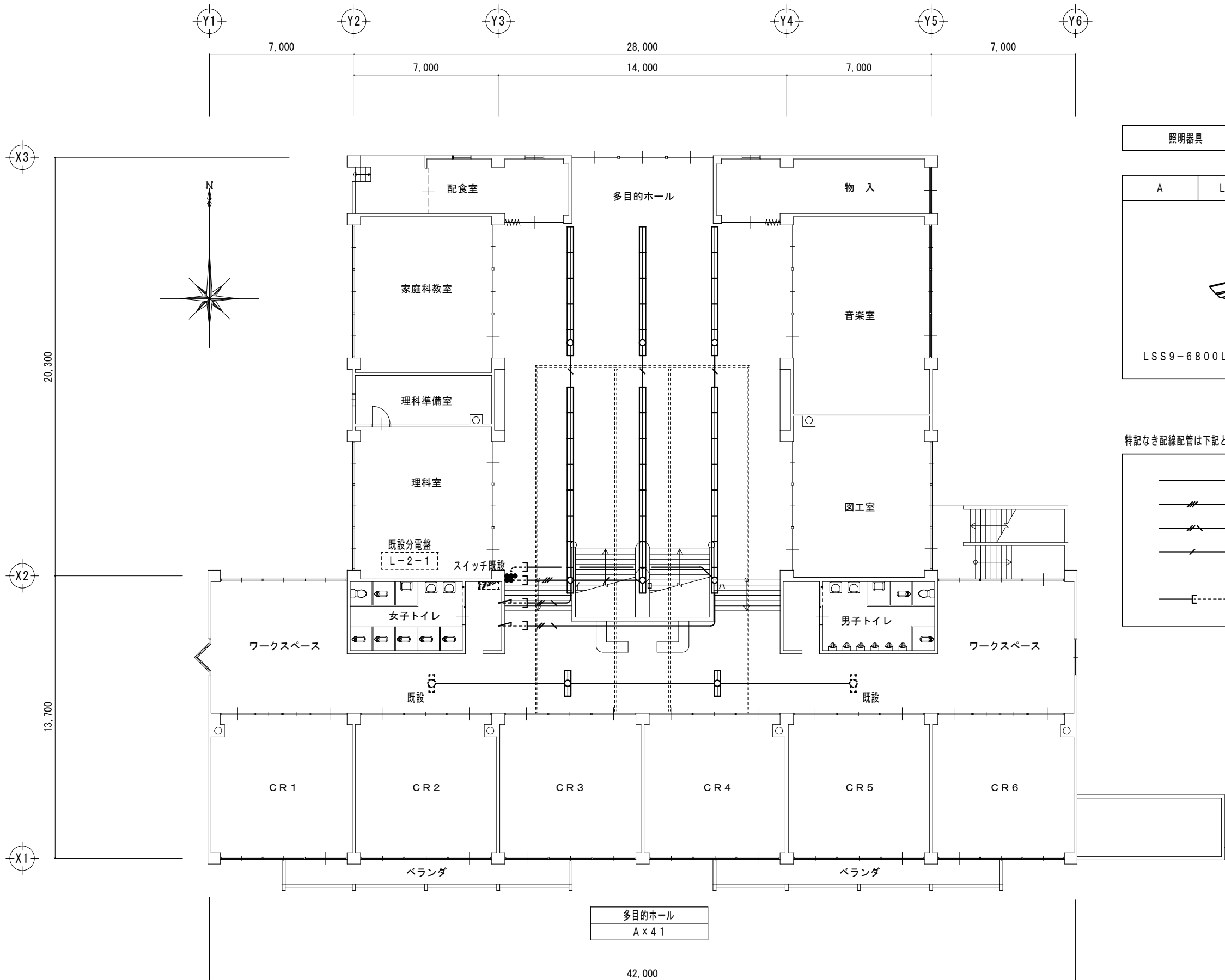
製造者が現存しない場合は（社）日本アイソトープ協会へ送付すること。（アイソトープ部業務２課）

凡例

記号	名称	仕様	備考
◢	電灯盤	別図参照	既設
⊖	照明器具	別図参照	
●	埋込スイッチ	大角型　１Ｐ１５Ａ	既設
S	感知器	光電式スポット型　２種	

メーカーリスト

電線ケーブル	ＪＩＳ・ＪＣＳ規格品
鋼製電線管、付属品	ＪＩＳ規格品
合成樹脂電線管、付属品（可とう管、波付管含む）	ＪＩＳ規格品
配線器具	ＪＩＳ規格品
配分電盤、端子盤、分配器函　〔国土交通省仕様〕	かわでん、河村電器産業、下平電機製作所、ダイシン電機、大日製作所、東芝ライテック、内外電機、日東工業、パナソニック
照明器具	岩崎電気、遠藤照明、オーデリック、コイト工業、大光電機、東芝ライテック、ＮＥＣライテイング、ＧＳユアサ
	日立、パナソニック、三菱電機照明、ヤマギワ、山田照明
自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、防火扉制御機器	沖電気防災、ＬＩＸＩＬニッタン、能美防災、ホーチキ、パナソニック

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	図面名	特記仕様書	検印	No, 27.04.06
	縮　尺	NON		E－01

Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
7,000
28,000
7,000
7,000
14,000
7,000
X3
X2
X1
20,300
13,700
N
配食室
多目的ホール
物　入
家庭科教室
音楽室
理科準備室
理科室
図工室
既設分電盤
L－2－1
スイッチ既設
女子トイレ
男子トイレ
ワークスペース
ワークスペース
既設
既設
CR1
CR2
CR3
CR4
CR5
CR6
ベランダ
ベランダ
多目的ホール
A×41
42,000
照明器具
A
LED 52. 1W
取付高さ調整・吊下金具等共
LSS9－6800LM
特記なき配線配管は下記とする。
EM－EEF 1. 6－2C
〃　1. 6－3C
〃　2. 0－3C　1Cアース
〃　1. 6－3C　1Cアース
壁立上げ等　既設配管入線部分
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか
改修工事
図面名
改修後　2階電灯設備図
縮　尺
S=1:200
検
印
No.
27.04.06
E－02

Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
7,000
28,000
7,000
7,000
14,000
7,000
X3
X2
X1
20,300
13,700
42,000
N
配食室
物　入
多目的ホール
家庭科教室
音楽室
理科準備室
理科室
図工室
女子トイレ
男子トイレ
既設ＢＯＸ内にて接続
既設ＢＯＸ内にて接続
ワークスペース
ワークスペース
ＣＲ１
ＣＲ２
ＣＲ３
ＣＲ４
ＣＲ５
ＣＲ６
ベランダ
ベランダ
特記なき配線配管は下記とする。
ＡＥ １．２－４Ｃ
壁立上げ等　既設配管入線部分
光電式スポット型感知器　２種
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか
改修工事
図面名
改修後　２階火災報知設備図
縮　尺
S=1:200
検印
No.
27.04.06
Ｅ－03